◆日産自動車株式会社

【設立】 昭和8年12月26日

【資本金 】 6,058億1,300万円

【主な事業概要】

自動車とその関連部品・用品の設計、製造及び販売

【売上高過去3期分(連結)】

令和3年3月期 7兆8,625億7,200万円

令和2年3月期 9兆8,788億6,600万円

平成31年3月期 11兆5,742億4,700万円

【当期経営状況】

カルロス・ゴーン元会長の拡大路線の下に傷ついたブランドカ は回復しきっていない。

半導体の不足に伴なう減産や新型コロナウィルスの感染拡大に伴う世界的危機による影響であるが、今後は、北米が、 急ぎに回復、中国市場も順調に推移しているので今後の回復に 期待したい。

日産自動車

<財務カ>

流動性比率 良 当座比率 130.3%(標準100%)以上

流動比率 153.9%(標準120%)以上

支払能力は良い

財務安定性 良 財務センターラインが右上がり

自己資本比率 標準以下 26.4%(標準40%)以上

健全性にやや不安

<収益カ>

収益力 不良 経費負担率 -121.1%(標準90%)以下 当期赤字

収益効率 不良

売上高経常利益率 -2.8%(標準4~5%)以上

<キャッシュフローの特徴>

借入返済2.2兆円、設備投資3623億円の支出があるが、 減価償却費7087億円と新規借入2兆円でキャッシュフローは 3910億円増加となった。実質的な借換効果か。

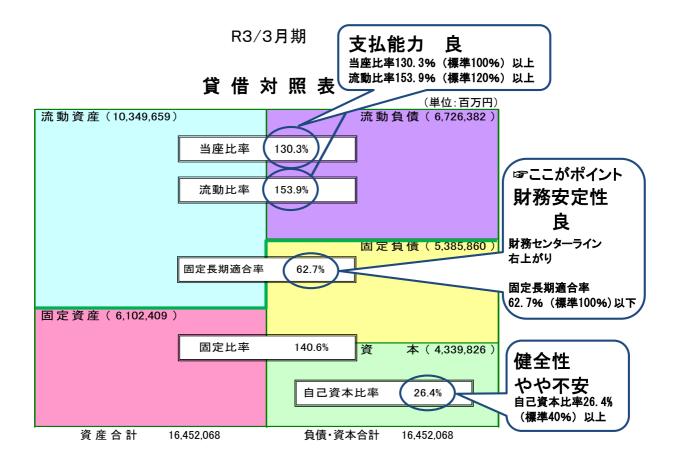
≪ポイント≫

今期赤字となり、当座比率が130.3%でも支払能力に不安がある。

売掛金回収と在庫処分の必要がある。

本業の立て直しが、急務で収益力の強化がポイントである。

日産自動車株式会社

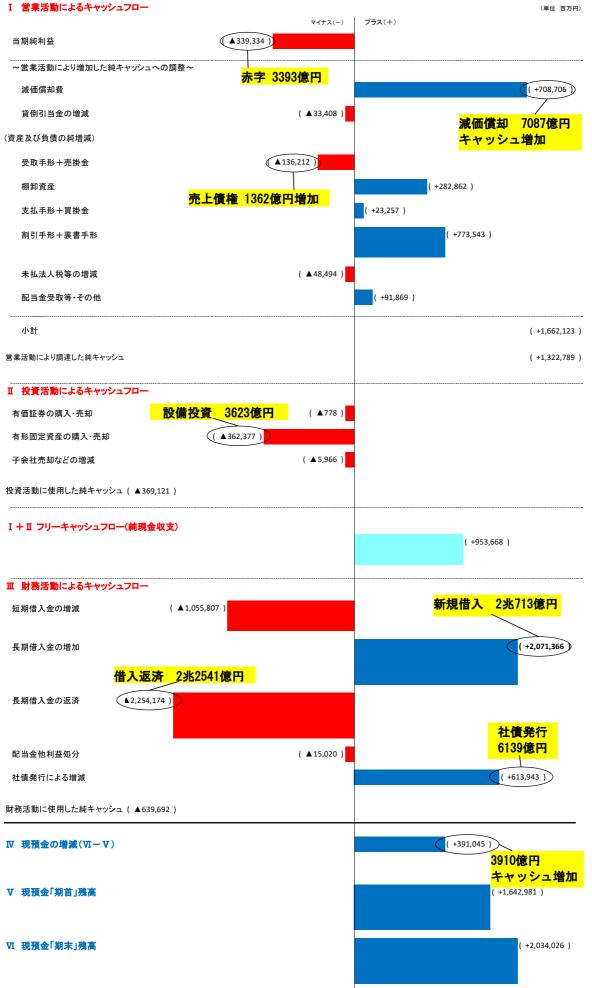


損益計算書 (単位:百万円) 収益力 不安 変動費比率 86.6% 経営負担率 売上高 121.1% (標準 90%)以下 売上原価 (6,811,747) (7,862,572) 固定費比率 16.2% 人件費 粗利益率 経営負担率 13.4% 121.1% 経 費 金 利 粗利益 固定費 収益効率性 戦略費 (1,050,825) (1,272,055) 不安 経常利益売上比率 -2.8%経常利益売上比率 -2.8% (標準4~5%)以上 2213億 赤字 経常損失((-221,230

~キャッシュフロー計算書~

日産自動車株式会社

期間 R2年4月 1日 ~ R3年3月 末日



日産自動車株式会社

